

# 社会コミュニケーション入門の履修について

## 食品リサイクルループをデザインしよう

～食品廃棄物の資源循環実現に向けて食料生産の意義を考えよう～

担当：小島理沙・実務家教員（ワタミ株式会社執行役員百瀬則子）・石川雅紀

### － 履修者募集要項 －

食品廃棄物の資源循環は、資源の乏しい日本にとって極めて重要な取り組みである。とりわけロシアのウクライナ侵攻に伴う資源価格の高騰、円安といった経済情勢を鑑みると、食品生産において肥料・飼料を輸入に頼るだけでなく、廃棄食品の効率活用が求められる。本授業は、食品リサイクル（飼料製造業者）施設を見学や、神戸市内の商店街ヒアリングを通して、食品リサイクルループを実行するにあたっての課題を検証し、当該商店街での食品リサイクルループ事業をデザインする。具体的には商店街の社会調査を実施し、可能性調査を行う。尚、神戸市環境局からのレクも予定している。

## ●社会コミュニケーション入門

【日程】 後期 火曜 2限

場所：神戸大学 経済学部 教室は時間割を確認すること

ただし、フィールド調査（京都府長岡京市：1回・神戸市内商店街：数回）を予定している。**日程は後期期間火曜 10時～12時**となる。尚、フィールド調査にかかる交通費は各自で用意。

※学外活動の際は、経済学部のコロナ対応指針に基づいて実施する。

### 【履修者への注意】

1. 実地演習等をするため、履修者並びに相手先の安全性、新型コロナウイルス感染対策の都合上、**履修者数の上限を15名**とする。履修希望者が上限を超えた場合は、ESDコースの趣旨から、所属学部、学年の多様性及び、主体的な取り組み意欲を重視し選考する。
2. 履修希望者は**全員**、履修の動機、この演習で何をしたいのかについて400字程度のレポートを提出すること。
3. 演習の性質上、フィールド調査における発言数等を授業評価の一環としているため、フィールド調査を当日の体調等でやむなく欠席する場合は、必ず担当教員に連絡すること。
4. 履修希望レポートは**9/6(金)～9/20(金) 17:00までに回答フォーム**で提出すること。
5. 履修が認められた場合は自動的に履修登録されるので、**9月26日(木)**にうりぼーネットで確認すること。履修登録確認表に載っていない場合は、履修が認められなかったことを意味する。
6. 詳細な成績評価方法は、シラバスを参照すること。